

● 附属幼稚園における環境教育取組状況

テーマ	年齢	活動
○植物・動物などとかかわる中で、その不思議さや美しさや自然の大きさを感じとる	3歳児・4歳児・5歳児	・草花等自然物を使っての遊び・園外保育・飼育栽培活動 ・北海道の交流園から届く雪の贈り物 ・ICTを活用した他園との交流
○自然の中で遊ぶ楽しさを味わいながら、科学的思考力を促す。	3歳児・4歳児	・鳴門教育大学多目的広場での自然体験プロジェクト
○身近にある川の様子や川に住む生き物に目を向け、大切にしようとする。	5歳児	・NPO「新町川を守る会」に協力し、助任川西の丸橋に掲示するアート作成 ・川や水に親しむ、ひょうたん島クルージング
○自然の中に入り、その雄大さや繊細さを体感し、感動や不思議の念をもち、積極的にかかわる。	3歳児・4歳児・5歳児	・身近な自然環境(徳島中央公園散策・城山登山)の中で、親子で自然を感じる親子遠足 ・大自然の中に入り、そのやさしさや厳しさ味わいながら眉山登山に挑戦

◇ 「自然に触れ、対話することで深まる、環境への親しみや理解」



※「遊誘財」とは？

(鳴門教育大学附属幼稚園が作成した右記資料より抜粋)

子どもたちが興味関心をもって惹き付けられ、様々に感じ、気付き、夢中になって遊び込み、そのものの本質やおもしろさに迫り、その中から豊かな感情や多様な学びが得られる。そのような、子どもたちを遊びに誘う「環境」を、私どもは「遊誘財」と命名した。単なる素材や教材の「材」ではなく、宝としての「財」である。



● 附属小学校における環境教育取組状況

テーマ	学年	教科	時間
○ そだてよう あさがお！ 種からあさがおを育て大切に世話をする中で、命の大切さたくましさについて気づく。	1	生活科学級活動	10/102
○ もりもり食べよう。 先生から給食のお話を聞いたり、一緒に給食を食べたりすることにより、食の大切さを考え、残食を減らす取り組みを行う。	1	生活科学級活動	1/102
○ たんぽぽはかせになろう たんぽぽの仕組みに関する説明文を読む活動を通して、命の大切さやたくましさについて気づく。	2	国語科	12/315
○ ぐんぐんそだて 自分の選んだ野菜を大切に育て、調理して食べることにより命や食の大切さに気づく。	2	生活科	14/105
○ 生きもの はかせになろう 地域に生息する生きものを飼育する活動を通して、生きものを取り巻く環境や生命の大切さについての気づきを深める。	2	生活科	10/105
○ かいちゅうでんとうを作ろう 懐中電灯を実際に作る活動を通して、生活に不可欠な電気の大切さについて考えを深める。	3	理科	8/105
○ 徳島市たんけん隊 学校周辺、城山等を探検するとともに、自然や地域の様子を観察し、人々の生活と環境についての気づきを深める。	3	生活科 理科 社会科	20/160
○ ごみはどこから ふだん何気なく捨てているごみの分別や収集について学ぶことで、地域の人々や地方公共団体の環境を守る努力について考えを深める。	4	社会科	12/105
○ 水のゆくえ 水道栓をひねると出てくる水はどこからどのように流れてきているのか学ぶなかで、美しい水を守る努力について考える。また、工場や家庭などから出る排水が環境に与える影響について学ぶ。	4	社会科	12/105
○ 大切な水 淀川水系の環境やラムサール条約について学ぶ中で、身の回りの環境について考える。	5	社会科	5/105
○ 環境問題について考えよう 日本の自然や地球規模の環境問題について学び、地球をどのように守っていくか考える。	5	社会科	3/105
○ かたづけよう身の回りのもの 身の回りの整理整頓のしかたや、不要品の再使用、再利用について工夫する方法を学び、環境を考えた生活の仕方について考える。	5	家庭科	3/60
○ クリーン大作戦 住まい方に関心を持ち、工夫をして掃除ができる方法について学んだ。校舎内の汚れ(廊下、階段、手洗い場、トイレ、給食時の配膳台、特別教室の机・イスなど)の掃除の仕方・工夫について考え、一部実践する。	6	家庭科	2/55

テーマ	学年	教科	時間
<p>○ 暑い季節を快適に</p> <p>暑い季節の住まい方や着方の工夫を考え、暑さを防ぎ、快適に過ごすにはどうすれば良いかを考える。身近な衣服について調べ、季節に合った衣服について考える。快適に過ごすために、児童が普段使っているもの(制服のネクタイ・襟、ハンカチ、トレーニング帽子、など)について手洗いの有効性を調べ、適切な洗い方や洗剤量について考える。</p>	6	家庭科	4/55
<p>○ 命のつながり</p> <p>第1章～炎と空気～第2章～植物～第3章～ヒト～第4章～水～第5章～月と太陽～第6章～大地～第7章～エネルギー～「ヒトと環境とのつながり」を大きなテーマとし、生物としてのヒトの生活と環境を相互に関係付けながら自然事象を捉える。全単元の終末に、地球に生きる生物として、持続可能な社会の構築という観点から、どのように自然事象と向き合うべきか、それぞれの考えをつくっていく。</p>	6	理科	14/105



そだてよう あさがお！
附属小学校1年

● 附属中学校における環境教育取組状況

テーマ	学年	教科	時間
<p>○ 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ</p> <p>シジュウカラの習性を知り、人間の活動が生物に与える影響について学習する。</p>	1	国語科	3/140
<p>○ モアイは語る -地球の未来-</p> <p>イースター島の文明崩壊の過程を読み、日本や地球全体にも視野を広げ、有限の資源を効率的・長期的に利用するために必要なことを考える。</p>	2	国語科	5/140
<p>○ リオ 伝説のスピーチ</p> <p>地球サミットで行われたセヴァン・スズキさんのスピーチ原稿を読み、地球環境を守るために自分たちでできることを考える。</p>	3	国語科	4/105
<p>○ アマゾンの熱帯雨林</p> <p>森林伐採等による、地球温暖化やアマゾンの環境破壊について学習する。</p>	1	社会科	3/105
<p>○ 日本の資源・エネルギーと電力</p> <p>世界的な視野から日本の資源・エネルギーの生産や消費の現状を理解するとともに、日本の資源・エネルギーに関する特色を大観しながら、環境保全や持続可能性の視点から、我が国のあるべき電力構成を考察する。</p>	2	社会科	2/105

テーマ	学年	教科	時間
○ 九州地方 北九州の工業が水俣病の発生を教訓にし、環境にどのように配慮し工業を発展していったのかについて学ぶ。	2	社会科	1/105
○ ラムサール条約 琵琶湖の環境やラムサール条約について学ぶ。	2	社会科	2/105
○ 近畿地方 環境保全の視点を中心に、自然・産業・人々の暮らしを考察する。	2	社会科	5/105
○ 近代日本を支えた糸と鉄 明治時代における重工業の発展には、足尾銅山鉱毒事件をはじめとする公害という社会問題があったことについて学ぶ。	2	社会科	1/105
○ 環境問題への取組 環境を守るために企業が社会的責任を果たすためにどのような経済活動を行っているのかについて、学ぶ。	3	社会科	1/140
○ 地球の環境 地球の環境をグローバルな視点から考え、話し合う。	3	社会科	4/140
○ 高度経済成長の光と影 高度経済成長期に公害が発生した背景や原因をとらえ、改善や解決に向けての政府の対応や制定された法律について学ぶ。	3	社会科	1/140
○ プラスチックの性質 物質を分類する中でプラスチックの性質に触れ、自然界では分解しない物質であることを学習する。	1	理科	4/105
○ 酸・アルカリと中和 酸やアルカリの水溶液を安全に廃棄するには、どのようにすればよいのか、また、なぜそれが必要なのかについて学ぶ。	3	理科	1/140
○ エネルギー資源とその利用 生活を支えるエネルギーの種類とその特徴について学び、新しい発電方法等についても学習する。	3	理科	2/140
○ 自然界のつり合い さまざまな生物は、生態系の中で互いにどのように関わっているのかを学習する。	3	理科	1/140
○ 身近な自然環境 マツの気孔の観察を通して、空気中の汚れや排ガス問題について学習する。	3	理科	1/140
○ 人間と環境 人間の活動による自然環境への影響には、どのような影響が生じるようになったのかを考える。	3	理科	1/140
○ 自然が人間の生活に及ぼす影響 人間は、自然からどのような影響を受けながら生活しているのかを学習する。	3	理科	1/140
○ 科学技術と人間 科学技術はどのように発展し、私たちの生活に何をもたらしているのかを学習する。	3	理科	1/140
○ 科学技術の利用と環境保全 今後も自然と人間が共存し続けていくためには、どのようなことが必要かを学習する。	3	理科	1/140
○ 空気、水の役割と飲料水、生活排水、ゴミの処理、環境の汚染と保全等の学習内容から、環境と自己の生活がどのように関わっているかを考える。	2	保健体育	6/105
○ プラスチックの性質と利用 プラスチックの性質とリサイクル技術を学習する。	1	技術分野	1/35

テーマ	学年	教科	時間
○ エネルギーの問題を解決する技術 エネルギーを取り巻く問題を知り、エネルギーを節約する新しい技術を学習する。	2	技術分野	2/35
○ よりよい衣生活を目指して 資源・環境と衣服、資源の有効活用のためになどについて学び、自分たちの衣生活からできることを考える。着ていない衣服の有効活用について考え、リメイク方法などを考える。	1	家庭分野	5/35
○ よりよい住生活を目指して 住む人が主人公、住まいと地球、環境に配慮した住生活などについて学び、自分たちの住生活からできることを考える。	1	家庭分野	1/35
○ よりよい食生活を目指して 食品の安全、食糧自給率問題、輸送とエネルギー問題、食生活とゴミなどについて学び、自分たちの食生活からできることを考える。	2	家庭分野	3/35
○ 実践！私のエコアクションプラン 持続可能な社会の構築のために、環境に配慮した消費生活について工夫し、実践できるようにする。	3	家庭分野	2/17.5
○ Think Globally , Act Locally 世界的問題や地域の問題について、現状や自分の思いを多くの人に知ってもらうためのポスターをつくる。	1	英語	6/140
○ Pictures and Our Beautiful Planet アラスカで進む自然破壊の現状と地球温暖化が人類に及ぼす影響について学習する。	2	英語	6/140
○ Animals on the Red List 世界の絶滅の恐れのある動物について知り、自分たちのできることを考える。	3	英語	8/140
○ Think Globally , Act Locally さまざまな環境問題を身近な問題としてとらえ、学習した知識を生かして自分にできることを考える。また、SDGsについて学習する。	1	総合	10/50
○ 徳島未来構想 徳島の現状を調べ、そこから15年後の徳島の環境に関する問題についての提言を行う。	3	総合	15/70

◇ 生徒会活動として、ペットボトルキャップやリングブルの回収をしています。また、環境に配慮することを伝えるポスターの作成や、節電や節水を呼びかける掲示などを通して、啓発に努めています。



● 附属特別支援学校における環境教育取組状況

学部・学年	教科等	指導内容
小学部 (全)	日常生活の指導	○ 燃やせるゴミ、燃やせないゴミを意識して、ゴミ箱に分けて入れる習慣を身につける。
		○ 手洗い、歯磨きの仕方を身につけるとともに、節水を意識して、水を大切にすることを身につける。
		○ 教室等の電灯やエアコンに係活動として消灯することで、電気の無駄遣いをしない習慣を身に付ける。
生活単元学習	○ 野菜・草花の栽培をとおして、植物の生長における水の大切さを知るとともに、野菜が食生活に欠かせない物であることを知る。	
遊びの指導	○ 中庭での遊びをとおして、季節の変化や草木の生長、昆虫の存在などに気付き、自然に親しみを感じるとともに環境教育の基盤を培う。	
中学部 (全)	日常生活の指導	○ 可燃ゴミ、不燃ゴミのマークをゴミ箱に貼り、紙、プラスチック、発泡スチロール、ビニール、木材等の名称を知るとともに、燃やせるゴミ、燃やせないゴミに分別してゴミ捨てをする習慣を身につける。
		○ 水道水、電灯、エアコン等の資源の大切さを知り、人のいないときは消灯し、省エネを通じて環境を意識した生活をする。
	生活単元学習	○ 野菜を栽培しよう 野菜の成長の学習をするとともに、つる性植物(きゅうり)や木立性植物(トマト)による遮光効果の学習をする。
	作業学習	○ 紙工班(牛乳パックの再利用による紙漉作品の制作) ○ 木工班(木工会社の端材を利用した木工作品の制作) ○ 空き缶やペットボトルの分別等に関する実習
職業・家庭	○ 快適な住まい 部屋の換気、採光、照明、冷暖房機等の必要性について考える。 ○ エコ活動 アルミ缶とスチール缶の分別や缶つぶし機の使用、ペットボトルの解体などを通し、リサイクル活動についての知識や技術を身につける。	
高等部 (全)	日常生活の指導	○ 燃やせるゴミ、燃やせないゴミ、ダンボール、資源ゴミ(空き缶・シュレッターゴミ)を分別・整理することで、将来の生活を意識した正しい処理の仕方を身につける。
	生活単元学習	○ 野菜を栽培しよう 野菜の成長の学習をするとともに、つる性植物(きゅうり)や木立性植物(トマト)による遮光効果の学習をする。収穫後の野菜ゴミを生ゴミ処理機により堆肥として再利用する。
	家庭	○ SDG'S について学び、快適な住まい部屋の換気、採光、照明、冷暖房機等の仕方を知り、エコを意識した健康な住まい方を工夫する。 ○ 消費生活 容器の使用自体を減らしたり、3R から4R、5R について意識できたりするよう、卒業後の生活を意識した学習に取り組む。
	作業学習	○ 紙工班(牛乳パックの再利用による紙漉作品の制作) ○ 木工班(木工会社の端材を利用した木工作品の制作)
就業体験(産業現場等における実習)	○ 吉野川河川敷の清掃活動や古本のリサイクル活動に取り組む。	

小学部（日常生活の指導）

〔生活科〕の内容である「手伝い・仕事」に関して、手伝いや戸締り、掃除など、身の回りの簡単な手伝いや仕事などの知識や技能を身につけます。それらをとおして、水や電気などの貴重な資源を無駄遣いしないことも学びます。



小学部（生活単元学習）

〔生活科〕の内容である「生命・自然」に関して、野菜・草花の栽培をしながら、植物の生長を知るとともに、自然や植物への親しみを育みます。日々の水やりや収穫をとおして、野菜の生長における水の大切さや、野菜と食生活への関心を高めるようにします。

中学部（日常生活の指導）

ごみ箱に、可燃ごみとして扱うもの・不燃ごみとして扱うものの例を文字や絵で示し、目で見て分かりやすくすることで日頃からごみを分別して捨てる習慣を身に付けることを目指しています。



中学部（職業・家庭）

空き缶を分別したり、ペットボトルを解体したりしてリサイクル活動に取り組みます。適切な処理の仕方を学習し、実際にやってみることで知識と技術を身に付け、資源の大切さを学びます。



高等部（生活単元学習・就業体験・作業学習／工芸）

野菜栽培後の茎や根を生ゴミ処理機に入れ、堆肥として再利用しています。

また、牛乳パックや木の廃材を利用して、工芸製品を作ったり、リサイクルボックスを設置しペットボトルキャップや古本を集め、各団体に寄付したりしています。